

第13回

都心～ウォーターフロント間における連節バス等運行に関する協議会

令和8年3月24日

第13回 都心～ウォーターフロント間における 連節バス等運行に関する協議会 議事録

日 時 令和8年3月24日（火） 14時00分から16時00分

場 所 神戸ポートオアシス 502・503会議室（神戸市中央区新港町5-2）

出席者 委員11名、オブザーバー4名（敬称略）

● 沿線団体

松 本 寿 之（代理：西村） 森 本 真 弥（代理：福浪）

松 渡 浩 司 渡 邊 真 二（代理：岸田）

中 島 健太郎

● 国

木 原 健 太

● 学識経験者

小 谷 通 泰 松 中 亮 治

柏 木 千 春

● 庁内関係者

鈴 木 雄 也 尾 添 順

● オブザーバー

清 水 貴 之 島 田 裕 二（代理：内田）

北 田 敬 広 大 村 元 範

次 第

1. 開会

2. 議事

- (1) 前回の振り返り
- (2) 利用状況
- (3) 運行計画
- (4) 定時性・利便性の向上
- (5) 利用促進
- (6) 今後の取組

3. 閉会

1. 開会

(事務局)

本日は、皆様年度末のお忙しい中、御出席いただきまして、誠にありがとうございます。改めまして、第13回都心～ウォーターフロント間における連節バス等運行に関する協議会を開催させていただきます。

本日の会もこれまでどおり、公開ということで行わせていただきます。撮影の希望がもしございましたら、議事進行の妨げになりませんよう、一番最後のタイミングでお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、事務局より御挨拶のほうをさせていただきます。

(事務局)

皆さん、年度末のお忙しい中、御参集いただきましてありがとうございます。

ポートループに関しまして、今年度は非常に大きな環境の変化がございまして、神戸空港の国際チャーター便の就航から始まりまして、ウォーターフロントエリアでは、GLION ARENAの開業、それから、大阪・関西万博というふうな、立て続けに大きな動きがありました。運行事業者様におかれましては、需要をきっちり獲得するために、ポートループを活用して、アリーナのお客様の臨時便に対応するであるとか、そういったことで利用者数を増やしていただきました。

一方で、神戸駅の便を少し、終バスを早くするとか、新神戸のサービスを少しの間やめてみるとか、そういったところのサービスの低下もありましたが、この秋には、そういう点も全て回復しました。通常運行になって、御利用者数も昨年に比べて1割強増えているというような状況でございます。

また、秋には、昨年から引き続きまして、GNSS と言いまして、衛星を用いた優先信号システムを使った実証実験を行いました。これによりまして、定時性が非常に今、ポートループ、問題になってございますけども、一定の改善効果が見られております。

さらに、待合環境の改善も、先生方、委員の皆様からも御意見頂いておりますけども、市役所前のポートループバス停の上屋を整備している状況で、年度末完成するというふうに報告を受けております。引き続き、この協議会で頂いた御意見を踏まえまして、より多くの皆さんにポートループを使っていただくような取組を進めてまいりたいと思っておりますし、特に、来年度以降、2030年の神戸空港の国際定期便就航に向けて、より多くの来訪者の皆さまに使っていただけるような方策をどんどん進めてまいりたいと思っておりますので、引き続き、御意見賜りたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

以上で、挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

2. 議事

(委員)

只今御挨拶にもございましたように、インバウンドの方にもどんどん使っていただきたいということで、今年度初めて、訪日外国人の方に対してもアンケート調査をやっていたいております。なかなかデータ数の制限もありますが、議論の中で何か、今後の利用促進に向けて糸口でもつかめればなと思っております。

それでは、早速、お手元の議事次第に沿って議事を進行させていただきます。まず、資料は一括して御説明をいただき、残った時間で、十分な時間を取りまして、皆さんの間で意見交換をさせていただきたいと思っております。

(事務局)

資料説明

(委員)

欠席の先生方の御意見も含めながら議論の中で適宜、回答していただければと思います。せっかくですので、御出席の委員の皆様から御意見を賜りたいと思っておりますがいかがでしょうか。

(委員)

それでは、少しコメントといいますか、意見のほうを述べさせていただきたいと思えます。10枚目、ダイヤ改正、これはちょっと大きなものかと思えますけれども、増便・減便はないということで時分の修正をされているんですが、やっぱり少しずつ時間帯によって時分がずれていってるといようなことが起こっていますので、いわゆるパターンダイヤの取組の方向と逆のほうに行ってるような気もするのですが。特に、待ち時間、着時間と発時間、時刻が違うところ、1分短縮したり1分延ばしたりということですが、あと少し時分を変えれば、ある程度そろったダイヤになっていく可能性もあるのかなというふうに思えますので、ここは一朝一夕ということでは難しいのかもしれませんが、パターンダイヤですね。最終的な目標として、少しでも近づくような形で取り組んでいただければというふうに思いました。

それから、もう一点は、先ほども少し話が出ました、訪日外国人の方々のことですが、特に案内が行き届かない、行き届いていないということは、ポートループだけの問題ではなくて、いろんなほかの場所においても、共通の課題なのかなというふうにも思えます。まずはどのタイミングで、訪日外国人の方に、この神戸市内での移動手段を知っていただくのか。それを少し整理をして、来日前であれば、恐らく、SNSですとか、インターネットですか、そういった手段になりますし、実際にまちに来られてからということであれば、案内所であったりあるいは、バス停も含めてということになりますので、少し

どのタイミングで都市内交通の情報に触れていただくのかということをし整理をして、それぞれのタイミングで戦略を立てて取り組んでいただければなというふうに思いました。

(事務局)

御意見ありがとうございます。

以前からパターンダイヤの件、御意見頂いている中で、当社におきましても、ダイヤ改正時にはその辺りは極力、御利用いただきやすいダイヤになるように、まず意識をしながら取り組んでいるところでございます。

今回の改正につきましても、一番ご利用の窓口となっております三宮駅前の時間は20分間隔というところは極力死守するよう意識しながら、また、一方で、ダイヤ編成に当たりまして、どうしても時間を調整するといいますか、遅れを吸収する部分ですとか、また、時間を調整できる停留所というところが限られてる中で、いかにお客様に、バスの車内で時間調整のために長く待機いただくような状況がないようにというところも踏まえて、うまく走れる時間がどれなのかなというところを試行錯誤しながら、今回のダイヤの編成にも取り組んでおるところでございます。そういった観点も踏まえまして、パターンダイヤの部分は引き続き、意識しつつ、またご利用のお客様に快適に、また速達性、定時性というところも意識しながら、ダイヤというものを引き続き検討してまいりたいと思います。

(委員)

混んでいる時、空いている時とで、運行に要する所要時間にどれだけ差があるのですか。所要時間が一定であれば、多分、パターンダイヤになりやすいと思うのですが。

(事務局)

そうですね。今、御意見頂きましたように、やはり朝の時間帯と日中の時間帯、また平日と土日というところで、時間には大きく10分弱ほどの差が出ているところがございます。その辺りをどこかの停留所で時間を合わせていくところを考えながらしておくこともありまして、どうしても1つ1つの停留所で見ますと、ばらつきが出てしまうというのが実情になっております。

(委員)

周知のタイミングが一番大事な課題ですが、何か事務局のほうでアンケート調査の結果から分かることはありますか。

(事務局)

まさしく、そもそものタイミングで移動手段を皆さん考えていらっしゃるのかなというところは、非常に興味深いなと思いましたが、少し今回のアンケートでは、そこまでは

確認できてないので、まずは、その実態をしっかりと確認することからかなと思っております。

ただ、一方で先生方からの意見で、非常に重要なことがありました。まず、しっかりと神戸に来た際の移動手段の選択肢これだけあるよというのを事前に周知をして、その中で、まず事前に計画を立てていただくことがより来神の意欲にもつながるといふご意見がありましたので、事前にしっかりと周知できるような体制であったり、システムというか、SNSなどをまた頼っていったりだとか、各種ホームページみたいなことにはなるかと思いますが、いかに事前に周知できるというところを検討していくのか。また、他の先生からそもそも移動手段の周知の前に、まずエリアとしての魅力を発信すると自然にどうやっていこうかなって、事前に計画を立てる上で見ることになると思うので、そこに対して神姫バスさんとも一緒に検討しながら、方策を考えていきたいと考えております。

(委員)

どこに行けばよいかという、要は案内ですね。どういうタイミングで利用者にそういった情報に接していただけるかというところで、何か事前に周知する方法として考えておられることありますか。

(委員)

そうですね。当局には観光案内所はもちろんあるので、そこでたくさんの方々お越しをいただいて、各種交通事業者様のほうでいかにまちを巡りやすくしていくかみたいところで、全体の地図や、特に、市街地のエリアのマップの中で、交通の拠点となる部分と観光施設等が、どれくらい近いみたいところは、かなり手厚く準備をさせていただいておりますが、あとはそれを実際に訪れるような方々の手にどう渡せるかというところにはなりますが、先ほど、事務局がおっしゃられていたのですが、やっぱり今のところSNSとか、特に、インバウンドの方々に向けてだと、ウェブ媒体っていうところで、どれだけ広報周知できるかっていうのが一番キーを握ってるような気はしています。

(委員)

クルーズ船の場合、船を降りるまでにほとんど行動が決まっているから、降りるまでにきちんと徹底して情報提供すべきだということを、実はお伺いしたことがあります。例えば、その辺の事情も考えていただいて、効果的な方法を取っていただきたいと思います。

また、後で何かいいアイデアがありましたら皆さまの方からもご紹介をお願いします。

(委員)

今、お話に出ていた移動手段の周知の件についても、後ほど、ちょっと触れたいと思いますが、今回の資料を拝見して利用者数の増加ですとか、それから、定時性・利便性の

向上というのが、時間の経過とともに着実に進んでいるなというふうに理解しました。

それから、信号制御システムに関してもロードマップをお示しいただいて、仕様書の設定に関しては1年もかかるんだと思いましたが、着実に進んでいるということが理解できました。

今回、利用者側の視点でアンケートを取られていて、その中で日本人の観光客を対象としたものがあつたかと思ひます。恐らく、これは今までの神戸市の観光の動態調査などを見ていると、このウォーターフロントに来られる方って大体、神戸市の方とか県内の方が圧倒的に多いんじゃないかなというふうに推測するんですが、そうなると、恐らくこれが県外の利用者と、観光客となつたときには、データはちょっと変わってくるだろうと。インバウンド観光客ほどにはならないでしょうけれども、変わった見方をしなければいけないのではないかなと思ひます。

特に、今後アリーナを核として、県外観光客を増加させていくと考えたときには、日本人観光客は今こんな状況だと、これを捉えないほうがいいのかなと思ひます。ちなみに私自身も、昨年の10月に東京の大学生20名を神戸に2泊3日して、まち歩きを調査のため来たのですが、そのときに、利用はあくまでも公共交通機関ということで、私たちは動いていました。先ほどの移動手段の周知の件にもつながるんですけども、これは団体で移動する場合と、個人で移動する場合と、どの設定が一番有効なのかというのは異なつてきます。

団体では、私の場合20名連れていかなきゃいけない、かつ公共交通機関を利用する。予算も限られる中で、やはり観光局さんのウェブサイトを見ても、どんなお得なクーポンがあるのかなというのをまず見ます。そうすると、神戸市さんの場合は、たくさんの1dayパスポートや、いろんな民間事業者さんの協力があり、他の市以上にとか、他の市の中でも、クーポンがいっぱいあります。

団体の場合はそういったところをよく見ますけれども、個人の場合、特にまち歩きなどは来てから考えるケースが多いです。そうすると、観光局さんのウェブサイト、それから、案内所と、もう一つホテルですね。ホテルに関しては、インフォメーションが弱いなど感じたところなんです。大体フロント周りに海外のホテルだと、こういう移動してくださいとか、今こういうイベントやっていますよという案内が多いのですが、神戸市内のホテルは、そういったところの連携がちょっと薄いかなというふうに、私自身は認識しています。

それと、これは追加でお話すると、いろんなお得なクーポンが情報として発信されているのですが、販売箇所がばらばらなんですね。ポータライナーを使うお得なクーポンは、ポータライナーで買ってくださいとか。これの場合はこっちで買ってください。結構、手間なので、ワンストップでどこかでまとめて買えるといいなというところがあります。

インバウンドに関しても同様で、少なくともホテルのインフォメーション。それから、国際線ターミナルもこの間、学生たちと視察に行きましたが、そこでも交通に関する情報が弱かつたので、そういったところもちょっと観光に対する交通案内というところを強

化したほうがいいかなと思います。

実際に20名で連節バスを使ってアリーナに行きました。降りた後ですが、アリーナを視察し終わって、学生たちにメリケンパークとかハーバーランドとか行ってもらおうと思ったときに、移動をどうしたらいいのかも全く分からなくなってしまい、私自身も神戸に住んでいましたが、あのエリアは新しくできた場所ですから、どう歩いてどう向かったらいいのかが、動線が分からなかったというところでした。ちょっと途方に暮れた、後はもう学生に任せて、私はホテルへ帰ってしまったのですが、本当にその動線が分かりづらかったというところでした。交通は乗ることが目的ではないですし、ウォーターフロントが目指すというのも、歩いて楽しめる魅力をいかに引き出すかというところもあると思うので、今後、移動の仕組みというふうを考えるだけではなくて、いかにエリアごとの体験をつないでいく仕組みなんだと。仕組みをどうつくり上げるかという、そういう設計の視点というのでも重要になってくるのではないかなと。そろそろそういう視点で見えていくと、これから各バス停の整備状況も出ていましたけれども、整備として捉えるというよりは、体験をつなぐという視点で見たときにどうなのかっていうところを、強化するといいかと思いました。

(委員)

貴重なアイデアを頂いたのではないかなと思います。

公共交通の優先信号システムについては、神戸で初めての試みとして実証実験もやっていただいております。大変効果があり、実際、現場のドライバーの方からも非常に好評なようです、アンケートを拝見しますと。ただ、もう少し早く実現できないかというのが、皆さんの御意見ですが、県警さん何かコメントをいただけますでしょうか。いろいろ難しい御事情もあると思うのですが。

(オブザーバー)

G N S S が非常に有用なシステムということは警察としても認識しております。現在、警察庁のほうで仕様化の制定作業を行っておりまして、現在、順調に進んでいると聞いております。

仕様化に何でこんな時間がかかるのかについては、仕様化というのは、兵庫県のみじゃなく、このG N S S を全国警察で導入しても、同じように動くのか、どこの業者が、ソフト、システムを開発しても同じように動くよう細かく設定とか、いろいろ機器の設定等々がございまして、その辺に時間がどうしても要するというのが1点ございまして。

あと、仕様化をすると、国の補助金、国庫補助というんですけども、その事業に組み込まれるということで、それに関して警察庁として、どれぐらいかかるからどれぐらいの補助額にしようとか、今、いろんな業者に、例えばこういうシステムをつくって、どれぐらいお金がかかるのかっていうのを見積りを取って、そこから全国的にいろんな業者、価格

があって物価の違いもあると思うので、その辺も統一するなどいろいろ検討した上で、国として幾らを補助しましょうというようにそこまで考えていくとなると、1年、2年はかかってくるということになってしまいます。

(委員)

兵庫県だけで勝手にやるというわけにもいきませんので、全国的なシステムとして、検討していただく必要があるため時間がかかるということなのですが、やむを得ないところがあると思います。どうしても先行事例の、産みの苦しみといいますか。効果があり順調にシステム導入に向けた作業が進んでいるということで、御理解いただきたいと思います。

いかがでしょう、ほか、特に具体的にお答えいただける方はいますかね。

(委員)

このGNSSですけれども、こうやって本格導入に向けた動きはあるというのは理解するんですけども、例えば、非常に道路が混雑する時期に、これまでやってきた社会実験をするというようなことも検討いただいたほうがいいのかなと。待ってる間もできることがあるんじゃないかなというふうに思いました。

(事務局)

おっしゃっていただいたとおり、3年程度空白の時間ができてしまうというところで、今、3か所実証実験を行ってますので、それを継続するというのも1つ、もちろん考えはしました。ただ少しちょうど今回、実証実験を行った信号を含め、神戸市における信号自体の改修が、兵庫県警さんのほうで行われてまして、実証実験を続けるとなると、今、管制センターに取り付けさせていただいてるシステム自体も、一旦改修が必要というところで、少し毎年、なかなか金額は言いにくいんですけども、かなりの金額が出てくるというところで、一旦、神戸市としては、この2年間で効果確認ができて、本格運用に向けてしっかりと動いていただいているというところをもって、3年後を、首を長くして待つことかなというところで、庁内では話してるところでございます。

(委員)

実証実験の検討もしていただいたことは事実ですが、いろいろ総合的に考えると、とにかくこのロードマップが円滑に進むことを希望するということになります。

それだけ待ち遠しいシステムであるということで、毎回せかすようで、申し訳ないのですが、可能な限り迅速に進めていただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、先生方から頂いたご意見も踏まえて、地元のまちづくりに関わっていただいている協議会の皆様からも御意見を伺いたいと思います。

(委員)

先生方から非常に多岐にわたる示唆の深い御意見を頂きまして、我々も、この会の目的もごございますけれど、我々の事業にも参考になることがたくさんございました。

先ほど、各種クーポンが充実しているんだけども買うところが分からないということと、あと、事務局様のほうから、なかなかウェブ化のほうが進んでないってということで、オフラインとオンラインの両方の窓口がどのようにあるかっていうことの計画といいますか、調整というか、設計が適時見直される必要があると思うんですけども、そういったところが1つポイントじゃないかなと思ひまして、拝見いたしました。

それから、私、後でまた申し上げようと思うんですが、資料に入れていただきましたチョコの街K O B Eというのは、これ社員証なんですけど、チョコの街K O B Eって貼っつけてる言い出しっぺなんですけれどもご一緒しました。前回の振り返りの部分で回遊をしていただきたいということが1つテーマにあると思うんですけども、その回遊をするということが実際、どこを回遊するのかという情報を発信するのはひとつ手だてではないかというふうに感じています。

先ほど先生からも、この交通の利用することそのものが目的ではないということですので、利用してどこへ行くか、何があるのか。エリアの魅力を先ほど発信とか、つくっていくことが大切であるというふうにおっしゃっていただいた御意見があったと思うんですけども、この全停留所の先に何があるのか、隣も行かないといけない、3つ先も行かないといけない。またぐるっと回っても行かないといけないと思っていただける、各停留所からアクセスできるポイントが一体何なのかっていう情報については、もう少し充実があったりとか、それをどのような形に触れるのかは先ほどのSNSとかがいいのかもしれないけれども、ひとつポイントになってこよやかなというふうに思いました。

公共交通機関ということですので、若い方、特にSDG₅を学校でも学んでいらっしゃいますので、そういった視点についても社会的に発信していくことは大切かなというふうに感じてございます。

私ども、GLION ARENAのたもとに事業所がありまして、ミュージアム、レストラン、ワイナリーがございますが、それで恩恵には預かってるんですけども、やはり平日は厳しいというのは実感して感じてございます。私、以前ワイナリーの担当もしておりましたので、別の、このエリアのエリマネの会議にも出席しておりますが、そこでも回遊と、そして滞在ですね。もちろん、回ってもほしいし、アリーナだけ行って帰るという、さっき御意見あったんですけども、滞在時間も長くしてほしいというテーマを持って、そちらではいろいろ議論をしていました。アリーナの横に1個電子ペーパーを、KWDさんのほうが開設をしていて、そこで電子ペーパーが掲出できるんですね。ですので、ちょっと、そのうち有料にするって言ってたんですけど、今は周辺事業者無料ですので、その電子ペーパーは割とアリーナに行かれる方が多いということは、目にされる方が多いので、その活用は1つ考えてみるのはいいのではないかと思います。その電子ペーパーからは

2次元コードで飛べるっていうふうに言ってましたので、1つ御紹介申し上げたいと思います。

それから、1dayチケットの利用ということは、先ほど申しあげました、どの停留所にも降りたくなって巡りたくなるっていうことだと、1dayのチケットの利用と何かコンテンツを絡めるっていうことがあるといいのかなというふうに感じております。

あと、今のところデータを拝見してますと、コンサート行く方と、BE K O B E を見に行く方が多そうだなというふうに感じますので、その2つに並ぶ、先ほどもお話申しあげましたような、コンテンツの紹介があれば大変素晴らしいのかなというふうにも思いましたし、資料の後半のほうに、歴史的なもの、遺構、そういったものも神戸に来ることによって知ることができる、学ぶことができる。しかも、価値があるということですので、歴女とかそういうことも言われたりいたしますけれども、歴史的なコンテンツについても、なかなかひっそりとあることが多くて、今でも、もうすぐ終わりますけども、ヘブンさんも神戸にいたりとかしましたし、何かそういったことも本当になかなか知る機会がありませんので、そういうコンテンツ提供があるといいのかなと思います。

もう一つ、別の会議にて議論になったことがありまして、多分アリーナ行く方はキャリアバッグがあるので、歩いていくのはしんどいということで、バス乗られる方多いと思うんですけども、別の会に出ておりました際に、海外で特にたくさんあるんだと思うんですが、バウンスというキャリアバッグを預かってもらえるサービスっていうのがあり、特にインバウンドとかアリーナの方についてもそうなんだと思うんですが、キャリアバッグを一時預かりしてもらえれば、周遊ですから、ずっと乗れますし、自分が預けたキャリアバッグを取りに行くことは、巡れば行けるわけですので、キャリアバッグ預かってしまえば、巡りやすくなるということもありますので、バウンスのようなことを、そのサービスを使うのか、もしくは神姫バス様とかでしたら、ちょっと紛失とかいろいろあって大変だと思うんですけども、一時預かりと、周遊を掛け合わせると、もう少し促進できる可能性があるんじゃないかなということで、拝見しながら思っておりました。

海外の方は特に、神戸はむちゃくちゃ認知度が高くて、私たちの社員の中にNHK、あさイチとかも出たチョコレートバイヤーみりっていうのがおるんですけども、みりが海外、もう何十か国も回ってるんですが、聞きますとみんな神戸知ってるっていうんですけど、何で知ってるのって聞きましたら、みんな神戸ビーフで知ってるそうなんです。でも神戸ビーフは今、すぐ予約が取れなかったりとかで、皆さん諦める方も多いんですけども、何かそういったことも含めて、神戸ビーフだけじゃないものをつくることも大事だし、神戸ビーフを活用していくっていうことも大事なのかなというふうに感じております。

先ほど、資料の31ページですかね、運行しているものを見たということと、バス停で見たとっていう方が非常に多いっていうことで、それは海外の方、国内の方も含めてそうなんだと思うんですけども、先ほどの魅力とか広報的なことが車両とバス停でもう少し展開がされたり、チケットのことが周知されると、接点としては非常にいいんじゃないかな

というふうに見ながら感じて、拝見をしておりました。

それから、さっきのチョコの街K O B Eのことなんですが、フェリシモではムーミン、それからミッフィー、そして今ちょうどかもめりあに停泊、もうすぐ帰ってきますけれど、帆船「みらいへ」、これにペルのバナーをかけたりとかしてるんですね。こないだ地上波放送がありましたけれども。そういったコンテンツをこれからもやっていきますので、そのファンの方が非常に来られますので、何かその辺と連動できるといいんじゃないかなっていうふうに感じております。

最後に、青年会議所様が今季、全国の大会を神戸でされるっていうのをお聞きしました。物すごい人数の若手経営者の方が来られるっていうことで、つながりは一応あるんですけども、何らか青年会議所様で神戸に来られた方も、バスに乗って回っていただきたいというふうに思いますんで、そこはひとつあるのかなと思いますのと、オータムフェスが、今年ちょっと規模を拡大してされるっていうふうに言っていました。オータムフェスは多分、歩きの方が多いと思うんですけども、そこでも周知していくと、オータムフェス来たことをきっかけに、その日には行けなかった神戸にまた行こうということで、そこでひとつ PR の機会があるんじゃないかなと思ひまして、ちょっとそういった感想を持ちました。

(委員)

大変貴重なアイデアをたくさん頂きまして、事務局のほうで十分整理していただく必要があると思います。すぐにでも生かせそうなアイデアもあったかなと思います。

私も1点気になったことがあるのですが、アンケート調査で、日本人の平均訪問箇所数というのがあります。私も、実は現役のとき研究室でいろいろアンケートをして、来街者が何か所ぐらい回遊するのかということ进行调查したことあります。今回のアンケート調査結果をみると、R4が2.0箇所今年が1.5箇所ですごく減っています。その理由を事務局のほうともいろいろ議論したのですが、アリーナでイベントがあって、イベントにだけ参加して帰ってしまう人が今回の調査ではオンされた結果、平均値を下げているのではないかと思われる。もともと二、三か所ぐらい回遊するという人たちはベースとして存在するのではないかと思います。だから、もう少しこのアンケート結果をしっかりと見て分析しないと、アリーナの往復しかしないっていう人と、以前と同様、数箇所を回遊している人とはは分離して計算しないといけない。減っているというのが、数値として見るとちょっとショッキングですけども、その辺は今後もう少し細かく分析していただきたいなと思います。

港湾局さんから説明して頂いたように、すぐに完成する施設ばかりではないのですが、これからもいろいろ面白そうな、魅力的な場所を創出していただけるということなので、いかにして回遊を増やしていくかということは、非常に大事な課題だなと思います。

(委員)

私もちょっと古い人間なんで、知らないまちに行くときに、まず、私は書店でガイドブックを買います。あるまちのこういうところに行きたいなっていったときに、そこに行くにはどうしたらいいのかっていうのを調べる。で、その次はここに行きたい。そこに行くには、結構、下調べをするのが好きなのですが、実際、私、神戸に住んでいて神戸のガイドブックを買ったことは無いので、神戸のガイドブックに公共交通機関としてポートループ等の情報は載っているのでしょうか。

また、もし出版社に積極的にアプローチして紹介していただくみたいなことは可能なのかどうかということ調べていただければなと思ってます。

(事務局)

どちらかという、他市よりも載せていただいていると思います。

もともとポートループ自体が今回ウォーターフロントの開発の中でのアクセスとして重要なところですので、スポットに行くためのアクセスとして、ポートループを紹介していただいているのは正直あります。

あと、以前からシティループは神戸市さんから弊社に引き継いでおりますけれども、ちょうどポートループとシティループということで、2つの大きな観光周遊路線は載せていただいていますし、ポートループを導入した際には、特集ページを有名な観光ガイドブックで制作いただいた経緯もございます。ただ、情報のアップデートがどれぐらい充実されているかどうかは最近見られてないので、貴重な御意見として受け止めます。ありがとうございます。

(委員)

本日はご説明ありがとうございました。各施策が着実に効果を上げ、利用者増加につながっていることを確認できた点は、大変有意義だったと思います。

また、皆様から多様なアイデアが出ており、ウォーターフロントの西の玄関口であるハーバーランドとしても、引き続き連携しながら施策に取り組んでいければと考えております。貴重なご提案をいただき、ありがとうございます。

私からは1点、各バス停の整備状況について申し上げます。資料の20ページに現状整理がありますが、ハーバーランド停留所は「シティループへの乗換え可」にとどまり、デジタルサイネージ、上屋、Wi-Fi等の設備が整っていない状況で、現状は見劣りしていると感じております。制約があることは承知しておりますが、各バス停の魅力向上に向けた取組(上屋・案内設備・Wi-Fi等の整備)を引き続きご検討いただけますと、ハーバーランドとしても大変ありがたく存じます。今後ともよろしくお願いいたします。

(委員)

バス停の位置がこの数年間で変わってしまったのですが、ルートも変わりました。バス停の整備も含めて、何か今後考えておられることありますか。

(事務局)

今、おっしゃっていただいたとおり、ハーバーランドが特にバス停の位置も状況を見ながら、適切な場所を見極めているところがございます。やはり最終形の場所がカチッと決まったところからハード面の整備等を少しずつ進めているところはございます。

一方で、何もしないでいいわけではないので、例えば、開発の状況とかを注視するものの、開発までかなり長い時間を要するのであれば、暫定的にでもできることはないのかというところは、少し検討していく必要があるなというところを、すみません、確かに各バス停を横並びで見ると、さらに感じたところではございますので、引き続き神姫バスさんと会話もしながら、港湾局さんの開発状況とかも注視しながら、やれることからやっていけたらなというふうに感じてるところでございます。

(事務局)

ハーバーランドにおきましては、弁天町の交差点からデッキが延伸しまして、開通をいたしましたところがございます。やっとながったなというふうに、私、感じております。ハーバーランドと元町が動線として一体化したというふうに思っております。

ここの部分をさらに活用できないかとか、引き続き考えさせていただきたいなとも思っておりますので、御連携のほど、よろしく申し上げます。

(委員)

このハーバーランドでは、神戸駅に至るこの辺りは、ちょうど渋滞が一番激しいところで、神姫バスさんも御苦労されていると思いますが、どうですか、バス停の場所も含めて何か御希望といたしますか、運行上の御希望等ございますか。

(事務局)

先ほど、ご紹介ありましたとおり、弁天町の歩道橋ができたりですとか、また昨年実施されました社会実験で、車の統制をどうするかとかいうお話もある中で、状況として、環境としてはいろいろと今後も変わってこようかなと思います。そういったところを注視しながらも、特に、ハーバーランドの東向きの停留所というのを、どこかに設けるとするのは、ひとつこれは、まちを回遊していただく上でも非常に効果的であるなというふうに事業者としても、運行している営業しても思っておるところでございます。今のホームセンターのある前の辺りですとか、1つ候補にはなっただろうかとは思いますが、また、周辺の道路環境、歩行者の方々の動線、そういったあたりが変わってくることも想定

しながら、ちょっと停留所の新たな設置というあたりについては、引き続き、皆様の意見、知恵も借りながら考えていけたらなというふうに考えるところです。

(委員)

やはりウォーターフロントの中でハーバーランドは大変重要な、主要な目的地ですので、よりアクセスしやすいように、バス停の位置も含めて今後ぜひとも、検討していただきたいと思います。

(委員)

私、今日、こちらへ寄せていただくのに、まさにポートループ乗ってまいりました。ウォーターフロントエリアに目的地がある場合は、非常に便利でちょくちょく利用させていただいてますが、今日はなんと15分から20分ぐらい遅れました。やっぱり京橋の交差点、右折が混んでまして、早くこのシステムできればいいなというふうに、改めてお話を聞きながら思った次第でございます。これだと歩いたほうが早いのではないかなというふうに思うぐらいちょっとじれったいものでした。

ただ、さっき先生のほうからお話ありましたけれども、エリアの体験をつないでいくという、非常にいいお話だと思っていたのですが、今ですと、やっぱり一突からメリケンパークに至るまでの間が非常に寂しいですので、あそこをどうやって歩いていけばいいのだろうと。私もこの間は歩いていたのですが、初めて来た人や、あまり来たことがない人だと、道も多分、分からないでしょうから、全く心細くつまらない体験にしかならないだろうなというふうに感じた次第です。ですから、早くあそこは港湾局さんが京橋の埋立てでやっていただければ、何か楽しいものが体験できるのかなというふうに非常に大きな期待をしているところであります。

メリケンパークの状況をちょっとだけお話させていただきますと、やはり BE KOBE モニュメントが非常に人気がございます。写真を撮りたい。あその前で記念撮影したいという方が非常にたくさんおられます。常に列をなしているというような状況です。やはりアジア系のお客様結構いらっしゃいます。中国便が飛ばなくなって減るのかなと思いましたが、それでもアジア系の方たくさんいらっしゃいます。日によっては、恐らく客船が着いたときだと思いますが、欧米系のお客様も見られるというような状況で、これから春休みになりますと、日本のお客様もかなり来られるのかなというふうに思っております。

(委員)

なかなかちょっと各方面で魅力ある発信というのは非常に、私も難しい課題だなというふうに思っております。捉えられる方が多分、てんでんばらばらな方向を向いておられるので、ちょっとどういうところにどうやって向いていったらいいのだったというのは正直厳しい条件を突きつけてるのかなというふうに思うのですけれども。GLION AREN

Aができたというのが、今一番、ホットな話になるのかなと思うんですけど、いってもハーバーランドとかは、昔からあるコンテンツでもあったりしますので、ぼやけるような発信じゃなく、ポイントを絞られたほうがいいのかという気はいたします。

アンケートの回答、日本人で令和4年と7年の比較がありました。バス停の位置がよく分からないというのが改善をされたというのは非常にいい話なのかなというふうに思います。あれだけ三宮の駅前再開発ということで通路が変わり、出口も変わりデッキが動いたりという中で、これが減ったというのは非常にいい周知ができたのかなというふうに思います。

その一方で、なぜかバス停から目的まで遠いから使わないという答えが増えたというのが、正直ちょっとこれ何でこうなるんだろうっていうのが分からなかったところです。仮に、新神戸駅とかでもし聞かれて、いや目的地と違う方向に行きたかったんだという人を聞いたという可能性は当然あったりするんだと思うんですけども、これだけウォーターフロントに密着したところにそれぞれ停留所があるのに、何でこんなバス停から目的地が遠いというような答えが出たのかなというのがちょっとよく分からないというのが感想というか、お尋ねになります。

(事務局)

バス停から目的地まで遠いためというところが、正直なところで言うと、なかなかつかめてないというのがまず結論になりまして、ただ令和4年度から今回、令和7年度でアンケート項目を少しブラッシュアップしたところがございまして、令和4年度のときは、例えば、KIITO と、atoa のように少し離れてるところも1つの訪問先として選択肢としてあったところを、今回、バス停単位で少し選択肢をつくりましたので、実際どのバス停に行ったのかということまでは追えています、そのバス停からどの施設にということまでが少しアンケートでは追えていないところは少し課題では感じてるので、そこをもう少し施設と交通を結びつけてどういう移動をされてるのかちいうところをまずは MaaS の観点でしっかりと把握する手段は検討していきたいなと考えております。

明確な回答ができなくて申し訳ないです。

(委員)

そうなんだろうなということで、それは十分です。また今後、参考にしていただければ。

(委員)

確かに、サンプル数がちょっと突出していますね。何かの要因とクロス集計すればもう少し分かりそうなので、なぜかっていうところを探っていただくと、また新しい糸口が出てくるかもしれませんね。

(委員)

先ほど、少し話があったガイドブックの話ですね。日本のガイドブックにはかなり丁寧に取り上げられているということだったんですが、今ちょっとインターネットで、ロンリープラネットのページを見てたんですけども、公共交通という文言は、本のほうにはあるのかもしれませんが、サイトのほうにはなくて、サイトのほうには神戸がどう紹介されるかという、非常にコンパクトな町で歩いて回れるというふうな紹介がされておりまして、ちょっと公共交通のこの字も出てこないなということと、あと主要な見るべき場所、が幾つか上がってるんですけども、ウォーターフロント、ハーバーランドに両方あるのかな。海洋博物館と、それから震災のメモリアルミュージアムですかね。そこが取り上げられてはいるんですけども、そこも少し見てみたんですけども、特にアクセスについては、ウェブサイトではまだ触れられてないので、少し国内もそうですけども、海外のほうにもちょっと視野を広げて、ロンリープラネット、多分、一番海外のガイドブックでは有名なものじゃないのかなと思うので、この辺りにどう書かれているのか。あるいは、恐らくここも何らかアクセスをし、いろいろと情報提供をすればそれなりに採用いただけるんじゃないか、向こうも情報を欲しがってると思いますんで。サイトを見てると、大阪とかだと、いろいろ見るべき場所も写真つきで、大阪城とか載ってるんですけど、神戸は一個も写真がないというちょっと悲しい状況でもありますので、少しその辺りも留意していただければというふうに思いました。

(委員)

そういう戦略って言いますか、誰がこうしたサイトにアプローチしていくか。観光局さんに頑張ってもらわないといけないのか。松中先生が言われたような視点からもアプローチしていただいて、働きかけをしていただきたい。

(事務局)

皆様との連携による、おもてなしの心っていうのが重要なんだろうなっていうふうに、私なりに捉えてございます。神戸観光 MaaS の取組ですね、こちらも継続をさせていただいております。

思い返しますと、1年前は本当、つくることに必死でした、それを空港に、国際チャーター便が就航しますよですとか、大阪で関西万博が始まりますよということが控えておりまして、その4月に絶対つくらんだっていうふうなところで、非常に切羽詰まっていたところなんですけども、何とか出来上がりました、本当に、御関係の皆様には感謝の念が絶えないところでございます。

一方で、売り始めてからもう販売は終わったんですけども、反省としましては、やっぱりインバウンドの訴求っていうのが難しかったです。スマホで買うことができる、デジタルチケットのはずなんですけど、なかなかそこが難しかったというところがございます。

す。そういった反省も生かしながら、ポートループももちろん含めながら、次の展開に向けて様々な、神戸だけにとどまらず、いろんな場所のいろんな方と御連携をする機会もいただいておりますので、旅前の訴求の重要性も一定理解はさせていただいているところでございます。どういうふうにできるかなというの、今ちょっと作戦を練ってございます。観光局とも連携をしながら、交通局とも連携をしながらやっていくというふうなところ。

そして、旅ナカのほうですね、そちらももう少し深掘りする機会に恵まれております。お泊まりで、船舶の中でもというふうなお話があったかと思えます。ホテルの中でもいいかなと思えます。ある程度、インバウンドの方って、長期滞在をされる傾向が見えてまいりましたものですから、そういった連泊をされる方向けの旅ナカ訴求っていうのも実は需要があるんだと勉強させていただいているところです。こういった形の取組は、一度連携させていただきながら、皆様との御縁を大切にしながら進めさせていただきたいなというふうに感じているところです。

(委員)

この協議会は連節バスの協議会なので、なかなか神戸市全体の交通戦略をどう底上げしていくかというところまで、とても議論できません。多分、神戸市さんのほうで、いろんな部署の集まった組織で検討されておられると思うので、むしろここで出た意見をきちんとまとめていただいて、そういうことを議論する場につなげていただくことが必要では。協議会で出されたせっかくの意見が生かされないという非常にもったいないので、確実につなげていただくということが大事かと思えます。

外国人に対してもアンケート調査をされたのですが、特に日本人のアンケート調査結果との違いで何か回遊促進策を練る上で、ポイントとなるようなことがありますか。

(事務局)

訪日外国人の方が非常に徒歩が多いということで、徒歩で回るのは決して悪いことではないかと思うんですけども、ただ、訪問先箇所数っていうのもまだまだ伸ばしていけるのかなと思うので、そこに対して交通手段っていうところのアピールっていうのは非常に重要ななと思ってます。

あと、回遊性をつなげていく上では、先ほど少し御意見ありましたように、キャリーバッグをどうするかは一緒に考えていく必要があると思いますので、そこに対しての空港でも手荷物預かりサービスみたいところは、今やってるものの、少しまだ周知が足りないのか、利用されていないという実績もありますので、ただ回遊をつなぐ上で交通だけを考えるのではなく、荷物をどうするかとか、そういう方面からも少しアプローチをしていく必要があるのかなと感じております。

(委員)

荷物の預かりサービスというのは、以前も先生が盛んにおっしゃっていたことですが、全くないのですか。

(委員)

ないですね。

(委員)

京都でも、手ぶら観光というのは非常に重視されてます。そういうようなこともぜひ外国人対応として必要ですね。

(委員)

新神戸駅もコインロッカーがありますが、数が少ないです。

(委員)

運んだりしてくれないんですか。

(委員)

してくれないですね。三宮の商店街で一部のお店が20個まで可能などですが、予約制ではないので行ってみたいという状況です。

(委員)

以前からご提案いただいておりますので、この件についてはぜひ考慮していただきたいですね。

(委員)

情報提供になりますが、三宮再整備として各種事業が進んでいるところですが、特に、新たな中長距離のバスターミナルの整備というものを、国土交通省さんと一緒に進めてございまして、それが今年度は進捗ありましたので、簡単に共有させていただきます。

まず、バスターミナルの名称について、バスタ神戸三宮という名称に決まりました。また、バスターミナルを運営する事業者さんの選定をこれまで進めてきましたが、11月に、神姫バスさんを中心とするグループが運営事業者として選定され、この2月に、そのグループから成り立つ特別目的会社と契約を結ばせていただいたところです。今後2年間ほど開業準備をした後に、新たなバスターミナルとして開業するということを予定しております。

神姫バスさんが運営されることになりますので、ポータルグループともぜひ連携できればと

考えております。新たな交通結節拠出となりますので、そこにやってきた方がポートループに乗って、神戸のまちを回遊していくというような連携も神姫バスさんとこれから一緒に考えていければと思います。

(委員)

バスターミナルの開業は何年でしょうか。

(委員)

令和10年度を予定してございます。

(オブザーバー)

先ほど、お話しありましたけれども、京橋交差点で少し渋滞があったってということで、我々としましてもやはり周辺道路の交通状況というのは非常に気にしてしまっていて、今回のポートループのルートからは直接的な影響はないかもしれませんが、京橋ランプを出た車が東に向かって税関前、税関本庁前交差点のほうに車列が伸びるということで、この点につきましても、特に、税関前、税関本庁前交差点におきまして、神戸市としましても、車が渋滞が起きないように、少し交差点の改良というのを検討しており、今、その設計をして、できたら早い段階でそういった対策に取り組んでまいりたいなというふうに思っております。

それと、先ほど事務局のほうから、ハーバーランドの弁天町交差点の東デッキが開通ということで、正確には、来週の月曜日に供用開始されます。地上の歩行者交通がデッキが延伸されることによって、デッキレベルに流れていくということで、そういった意味からも地上の交通、自動車が流れやすくなると、そういった意味での環境も変わってくるのかなというふうに思っています。

(委員)

昨年は万博が開催され、運行便数を減便したりするなどイレギュラーなこともありました。今年はそのことは特にございません。本格的にウォーターフロントの施設整備も進みましたので、最大限こうした施設を活用していただく上でも、ポートループのより便利で、快適な運行を、関係機関の皆さんでぜひとも進めていただきたいと思います。次年度も着実に利用者が増えていくことを願っております。

大変、長時間にわたり熱心な御議論をいただきまして、ありがとうございました。

それでは議事進行を事務局にお返しいたします。

(事務局)

委員の皆様、改めまして、活発かつ大変貴重な御意見をありがとうございました。本日、

頂きました御意見を振り返りまして、また勉強もさせていただきつつ、来年度も取組を進めさせていただきたいなというふうに思っております。

次回の協議会につきましては、先ほど御説明させていただきましたとおり、次回のダイヤ改正前に開催をしたいなというふうに考えております。また、改めて、御案内させていただきたいなと思っております。引き続き、御指導のほど、よろしくお願いいたします。

それでは、最後に事務局、神姫バスから御挨拶をお願いいたします。

(事務局)

皆さん本日はお忙しい中、活発に御議論いただきまして、ありがとうございました。

頂戴しました、ダイヤ面、プロモーションであったり、動線の問題、まだまだ解決しないといけないことたくさんございますけれども、今後の事業運営にしっかりと、本日の御意見、議論して生かしていきたいというふうに考えております。

ハード面の対策では、冒頭にもございましたように、市役所前の上屋であったりとか、8月にはなりますけれども、連節バスの5台目が導入する予定でございます。これによって定期バスで運行することも大分減るだろうなど。お客様のがっかり感というのも、大分、阻止できると思っております。

そういったところもやりながら、4月1日のダイヤ改正では、神戸空港からシティループが何便か運行してるんですけども、これを新港町、ウォーターフロントのほうにも経由させる便をつくりまして、空港とウォーターフロントを結ぶ回遊性、こういったところを高めていきたいというふうに思っておりますし、神姫バスの宣伝にはなりますけれども、大阪シティバスさん、旧大阪市交通局さんと大阪の難波、天王寺から心齋橋と、神戸空港を結ぶ路線を1日8往復、4月1日から運行を開始しまして、そのうちの2往復をこちらウォーターフロントのほうまで延伸してくるということで、大阪ミナミに偏っているインバウンドを誘客できればと思っております。

それから、GNSSのことにしましては、関係者の皆様に御協力いただきまして、ありがとうございました。これも本格運用に向けて、何とか取り組んでいきたいと思っておりますし、またポートループの別の課題というところで、お盆やゴールデンウィーク、どうしても新神戸駅の自家用車が多く、運休せざるを得ないことや、花火大会、神戸まつり等、そういったところでも運休してしまうという状況で、神戸にせっかく来ていただける機会のときにバスが動いてないという、そういった課題も実はありまして、公共交通を何とか動かせるように、また皆さんのお知恵を借りながら解決していきたいなというふうに考えておりますので、ひとつ御協力のほうよろしくお願いいたします。

次回の協議会も引き続き皆さんの御議論、どうぞよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

(事務局)

以上をもちまして、本日の会、閉会とさせていただきます。

皆様、誠にありがとうございました。